

水野陶工組合

加盟月日

昭和二年二月二十四日

会員数

六十五名

所生地

愛知県春日井郡水野村上水野

組合長

加藤金治

以上六組合約巻千名の新会員を加ふるに至った。依つて更に瀬戸地方の新組合は同盟規約の基に地方聯合會を組織すべしとし本年四月二日瀬戸町末廣鼓に於て東春聯合會を新會式を奉じた。

東春聯合會

事務所

愛知県東春日井郡瀬戸町

会長

伊藤榮次郎

常任理事

横山貫一

尚東濃下石町にては下石陶画工組合の活動に依り一月中下石碍子陶工組合の組織あり

右友誼の關係を有して居る。

二. 爭議部

深刻なる不景氣の襲來は予期間に於て殆んど其の極度に達したるもの、如く製陶業界は一般に閑散を極め製品市價は平均四割方の低下を見群小工場に於ては破産休業等繰出して慘憺たる悲境を現出した後、組合員及一般同業労働者中には失業者續出してこれに救済對策に忙殺する如き苦境に陥り、勢を金体として貸銀稼得率の低下労働時間延長等労働條件の低下を見るに至つた。

斯る時期に際して全力を傾注して資本の攻勢に對抗し優良なる労働條件の維持を爲め、艱難に反つて屢次逆襲を轉じて之を改善向上を要求して奮闘し、第二回大會に於て決定せる標準労働條件即ち

一日九時間労働制 日曜休日

最低賃銀 一日 二円八十文 実行

等を実現することを要求した。未だ之が確定的なる實現を見る処少なく、反つて予期間に於て平均二割内外の賃銀下落を見るに至つた。而して本同盟の調査に依り組合加入者として